

代表質問

11月定例会では、内田博長議員（鳥取県議会自由民主党）、砂場隆浩議員（会派希望^{のぞみ}）が県行財政上の諸問題について、会派を代表して質問を行いました。

鳥取県議会自由民主党



内田 博長 議員
選挙区 日野郡

地方創生に向けた対応

問 備中松山藩の山田方谷の藩政改革と平井県政の共通する点が、地方創生に繋がるのではないか。

答 私たちはこれまで、地方経済の振興、財政の立て直し、人材育成等、山田方谷が目指した方向を辿っており、地方創生に向けてさらに発展させていく必要がある。

問 地方創生の推進に当たり、市町村版の総合戦略の策定などの取組において、県の役割が一層重要となるのではないか。

答 市町村の地方創生に向けた取組を応援するため、総合事務所等のトップを統括リーダーとして、市町村の相談に応じる窓口を一本化する「鳥取県版コンシェルジュ」制度を発足させたい。

問 中山間地域の町村に若手県職員を派遣し、地方創生の実践に力をふるってもらってはどうか。

答 総務部長か行財政改革局長を「市町村応援コーディネーター」に任じ、県職員派遣を希望する市町村からの相談を受ける窓口を今年度中に設置したい。

次期知事選挙への決意

問 3選出馬を表明された平井知事に、次期知事選に臨む決意を伺いたい。

答 日本全国に向けて鳥取が地方創生をリードする、我々が動くことで世の中を変える、こうした取組を実践するため、「鳥取元気プロジェクト」を立ち上げる必要がある。パートナー県政の名の下に、住民の皆様と一緒に、「人・まち・産業」を元気にするプロジェクト

をつくりあげていきたい。

中山間地域の農業振興

問 米価下落が大きな課題となる中、中山間地域の水田単作地帯の政策を早急に作る必要があるのではないか。

答 農業生産の付加価値を高めるため、今年度「鳥取県農業活力増進プラン」を策定予定であり、集落営農、特産品おこし、6次産業化等を含め、新しい農業形態を考えていく必要がある。

問 中山間地域の米作依存を脱却するため、日南試験地の試験栽培の結果を活用し、トマトに匹敵する農作物を作る必要があるのではないか。

答 日南ではピーマンやブロッコリーも広がり始めているが、更に有望品目がないか調査したい。また、薪等を燃やしてハウスを暖めるなど、中山間地域ならではの農業の在り方も研究したい。

林業の再生に向けて

問 今後、緩斜面の間伐が進んだ後の急斜面の間伐に向けて、林業生産の在り方を検討する必要があるのではないか。

答 議員から紹介のあったオーストリアの例も参考に、低コスト林業を目指して競争力のある山地づくりが必要である。関係者のお話を聞きながら、架線系や大規模輸送機械の導入など、今後の戦略づくりを検討していきたい。

鳥取県議会会派希望^{のぞみ}



砂場 隆浩 議員
選挙区 鳥取市

安心安全の未来創ろう

問 県民の未来を一番脅かすのは原発かもしれない。知事が中電の苅田社長に担当職員費等の財政支援を求めたことが「島根原発再稼働とセット」と報道された。知事からは「再稼働に直結しない」とお聞きしたが、再度、確認したい。

答 当惑している。再稼働は安全を第一に、周辺地域の意見を聞いて判断すべきで、別次元の問題だ。

問 県の地震想定では死因の75%は火災、22%が建物倒壊。東日本大震災や阪神大震災では火事原因の多くが電気。感震ブレイカー設

一般質問

置を助成し、進まない住宅の耐震改修の支援を充実すべきでは。

答 感震ブレイカー設置は市町村や県民に呼びかけていく。耐震改修は負担が大きいので、簡便な工法の開発を含めて取り組む。

元氣な未来を創ろう

問 ピケティの「21世紀の資本論」は、経済格差の拡大を問題とする一方、二つの大戦の復興期は経済成長で格差が縮小したと指摘している。そこで、技術革新で鳥取を豊かにすべく一次産品と食品の高付加価値を目指すフードバレー構想を提案、1億円超が予算化された。構想は中小企業も取り組め、創業や化粧品へ裾野を広げれば新産業の創造だ。更なる支援を。

答 最近はおもしろい研究が出てきている。未来型の産業として創薬も視野に入れていきたい。

問 地元企業を商品開発、販路拡大、資金繰り、人材育成の各段階できめ細かに支援すべきでは。

答 各ステーションを迫った支援をやっていく。補助金制度等は使い易くなるよう柔軟に検討したい。

問 海士町は都会の若者の挑戦に資金提供し、町内の雇用創造へ繋げている。この発想の転換は面白

い。鳥取県でも取り組んでみては。

答 現状のフレームだけではこういうビジネスを育てていくのは難しい。部局間連携で新しいスキームを検討して参りたい。

人に優しい未来創ろう

問 介護と子育ての支援が女性を支える上では重要だ。デイサービスでは想定していなかった宿泊が常態化している問題で、利用者の安全を守るガイドライン案に事業者の反対で例外規定が設けられた。形骸化しないよう個別点検を。

答 議員の質問がきっかけで国に先行して作ったガイドライン。運用を適切にしていきたい。

問 学校司書が法制度化された。司書が子らの声に耳を傾けることで、子らの主体的な学びを支え、癒やしの場にもなるワクワク空間に学校図書館を再構成しては。

答 (教育委員長) 大変良い話だと思つた。子どもたちの居場所を指して司書の研修会で話したい。

問 差別的な表現を改めるポリティカル・コレクトネスを求めてきたが研修会があっただけ。意識改革を目指して更に努力されたい。

答 まだまだ徹底されていない。今後よく点検させていただく。

11月定例会では、21人の議員が質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

若桜鉄道にSL社会実験

福田 俊史 議員



選挙区 八頭郡 会派 自由民主党

問 地方創生のモデルとして若桜鉄道の観光機能強化が必要だ。県東部の広域観光の目玉に成りうる若桜鉄道に一日だけSLを走行させる社会実験を考えている。この夢のプロジェクトを県に応援して頂きたいが、平井知事の所見は。

答 県も若桜鉄道の利用促進委員の立場としてこの社会実験のプロジェクトを応援したいと思う。

SLを走らせることが全国の注目を集めるきっかけになれば、これは一つの起爆剤となると思うので我々も協力していきたいと思う。

子育て王国と防災対策

坂野 経二郎 議員



選挙区 鳥取市 会派 絆

問 ①病児病後児が、そばにいて欲しいのは両親だ。施設整備だけでなく会社を安心して休める社会づくりが必要だ②育児・介護がよりに必要となる未来の鳥取県のために今からテレワークの推進を③防災の観点から、とっとりWEBマップと、スマホのGPS機能を連携させるべき④とりぎん文化会館に、ハートフル駐輪場を設けては。

答 ①新たな視点として検討する②新年度に向けて具現化する③年内には、指摘の内容整備を完了させる④試験的に実施する。

党派正式名称

- 自由民主党…鳥取県議会自由民主党
- 絆…鳥取県議会会派「絆」
- 希望…鳥取県議会会派「希望」
- 公明党…公明党鳥取県議員団
- 共産党…日本共産党鳥取県議員団